

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育の在り方を考える。

## I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。また、今年度も昨年度と同様に、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、研修を深めていきたいと考えた。

## II 研究の内容

### 1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月2日(金) PM13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 県立ワインセンターと大善寺見学コース

- ・県立ワインセンターの見学とワインについての説明
- ・大善寺の見学と講話

イ 勝沼ぶどう郷駅周辺見学コース

- ・大滝不動尊奥不動散策
- ・大日影トンネルワインカーブの見学及び説明

ウ 宮光園・メルシャンワイン見学コース

- ・宮光園の見学及び講話
- ・メルシャンワイン見学及び説明

エ 葡萄工房ワイングラス館と休息山休息山立正寺見学コース

- ・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験
- ・休息山立正寺見学と講話

### 2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月13日(水) 14:00～

(2) 目的 小学校の授業を参観し、情報交換及び懇談をとおして小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 小学校の授業参観

ア 授業提供 東雲小学校 全学級

イ 分科会

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの三つの柱と関連して

- ・「授業作り，授業改善部会」
- ・「学級作り，集団作り部会」
- ・「保護者，地域住民との部会」

○プロジェクトに関わる各校の取り組みについて

○中学校児童の生活・学習の様子について

○授業を参観しての感想，質問や意見

○小学校の指導，中学校の指導等の情報交換

### 3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月22日(水) PM15:00～

(2) 目的 甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトに関わる内容についての講演会を実施し，研究を深めるとともに，今後の指導の参考にする。

(3) 内容 講演会

講演題目 「音楽の向こうにあるもの」

講師 前関東音楽教育研究会会長 太田 學先生

### Ⅲ 成果と課題

- ・第1回の臨地研修では各小学校区の地域を巡ることで，より勝沼地域について知ることができ，社会科や総合の学習に役立てることができた。
- ・第2回の東雲小学校の授業公開では，子どもに学力をつけるための授業の工夫（言語活動）を，いろいろな教科でみてもらうことができた。また，その後の研究会では，甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの関連を図り，小学校と中学校の先生方が交流しながら話し合いを深めることができた。
- ・第3回目の講演会では，学級づくりという視点から合唱指導について学習することができた。講師の太田先生の教師力に驚くと共に，音楽指導を通しての自己表現の大切さや集団で一つのものを作り上げるすばらしさを，子どもの側に立って体験することができた。
- ・臨地研修の見学地の開拓が今後必要である。同じ場所を何年かお願いしているのでマンネリ化しがちである。
- ・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの関連を図り，大変有意義であった。今後も関連性を図っていきたい。

(ブロック長 保坂 恵)